



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 株式会社トーモク 上場取引所 東・札
コード番号 3946 URL <https://www.tomoku.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 中橋 光男
問合せ先責任者（役職名） 取締役専務執行役員（氏名） 山口 禎人（TEL） 03-3213-6811
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月4日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	109,084	3.8	4,472	42.1	4,429	44.7	2,785	45.4
2025年3月期中間期	105,061	2.6	3,147	1.4	3,060	△14.0	1,915	△13.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,592百万円（272.9％） 2025年3月期中間期 963百万円（△74.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	169.06	—
2025年3月期中間期	116.47	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	212,767	96,214	44.9
2025年3月期	206,825	93,371	44.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 95,437百万円 2025年3月期 92,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	55.00	100.00
2026年3月期	—	65.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	65.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	230,000	4.7	11,000	17.5	10,800	14.9	7,000	7.5	424.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社(社名)日栄紙工株式会社、遠州紙工業株式会社
除外 1社(社名)株式会社スウェーデンハウスリフォーム

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	19,341,568株	2025年3月期	19,341,568株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,844,654株	2025年3月期	2,875,150株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	16,479,030株	2025年3月期中間期	16,450,365株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、添付資料「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

※当社は以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

この説明会で使用した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

2025年11月28日(金)・・・機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費・設備投資に持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復しております。雇用・所得環境が改善する一方、企業収益は米国の通商政策の影響による足踏みがみられます。先行きについては物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども景気を下押しするリスクとなっており、注視が必要な状況です。

このような状況の下、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は109,084百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は4,472百万円（同42.1%増）、経常利益は4,429百万円（同44.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,785百万円（同45.4%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

段ボールの国内需要は、青果物向けが猛暑による作柄不良の影響もありましたが、全体ではほぼ前年並みとなりました。

当社グループの国内段ボール部門では、当社が主力とする加工食品及び青果物が前年同期を下回り、販売量は前年同期比で減少しました。海外段ボール部門では、米国の通商政策等の影響を受け、販売量は前年同期を下回りました。なお、生産面においては、猛暑対策として主要工場に新たな空調設備を導入し、従業員の職場環境改善、安全の確保に努めております。

一方、国内の販売価格は、前期から取り組んだ価格改定の効果で上昇しました。

その結果、段ボール部門の売上高は62,974百万円（前年同期比4.9%増）となり、営業利益は5,456百万円（同34.7%増）となりました。

〔住宅〕

国内の新設住宅着工戸数は4月以降前年同月比で減少が続いております。

当社グループの住宅部門では、㈱スウェーデンハウスが販売棟数及び契約棟数で前年同期比減少しました。また、2025年7月1日付けで子会社の株式会社スウェーデンハウスリフォームを吸収合併し、新築からリフォームまでワンストップでサービスを提供する体制を構築しました。㈱玉善は、建売及び注文住宅の販売棟数が前年同期比で増加しました。

その結果、住宅部門の売上高は22,718百万円（前年同期比0.4%増）となり、収益面では年間売上高に対する上半期売上高比率が低いため営業損失が1,324百万円（前年同期は営業損失1,266百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

物流業界では、国内貨物輸送量は4年連続のマイナスが予測されます。当社グループの運輸倉庫部門は、昨年稼働した大手小売業様向け物流センターの通年化や飲料関連貨物の新規拠点開設により取扱量が増加しました。一方、物流の2024年問題の影響で集車コストが大幅に増加しました。

その結果、運輸倉庫部門の売上高は23,391百万円（前年同期比4.5%増）となり、営業利益は795百万円（同6.0%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、現金及び預金等が減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産や棚卸資産、有形固定資産等の増加により前連結会計年度末比5,942百万円増加の212,767百万円となりました。負債は支払手形及び買掛金や借入金、その他流動負債等の増加により前連結会計年度末比3,099百万円増加の116,553百万円となりました。純資産の部は利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比2,842百万円増加の96,214百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日に発表いたしました業績予想の達成に引き続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,002	16,812
受取手形、売掛金及び契約資産	29,168	31,363
電子記録債権	9,302	10,427
棚卸資産	23,161	24,621
その他	6,857	7,826
貸倒引当金	△8	△12
流動資産合計	89,483	91,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,967	34,256
機械装置及び運搬具(純額)	18,643	18,571
土地	37,052	38,262
その他(純額)	4,742	7,121
有形固定資産合計	95,405	98,212
無形固定資産	718	523
投資その他の資産		
投資有価証券	11,012	12,374
その他	10,317	10,757
貸倒引当金	△112	△139
投資その他の資産合計	21,217	22,991
固定資産合計	117,341	121,728
資産合計	206,825	212,767

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,223	22,982
短期借入金	10,096	9,936
1年内返済予定の長期借入金	7,239	10,174
未払法人税等	1,564	2,204
賞与引当金	2,148	2,170
その他の引当金	312	185
その他	9,913	10,644
流動負債合計	53,497	58,298
固定負債		
長期借入金	50,328	48,348
退職給付に係る負債	2,984	2,955
その他	6,641	6,951
固定負債合計	59,955	58,254
負債合計	113,453	116,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,086	11,128
利益剰余金	64,509	66,388
自己株式	△4,146	△4,103
株主資本合計	85,119	87,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,365	4,262
為替換算調整勘定	1,796	1,764
退職給付に係る調整累計額	2,453	2,326
その他の包括利益累計額合計	7,614	8,353
非支配株主持分	637	776
純資産合計	93,371	96,214
負債純資産合計	206,825	212,767

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	105,061	109,084
売上原価	88,208	89,987
売上総利益	16,853	19,097
販売費及び一般管理費	13,706	14,624
営業利益	3,147	4,472
営業外収益		
受取利息及び配当金	171	170
仕入割引	114	138
雑収入	176	247
営業外収益合計	462	555
営業外費用		
支払利息	247	419
雑損失	302	179
営業外費用合計	549	598
経常利益	3,060	4,429
特別損失		
固定資産処分損	19	125
減損損失	7	0
特別損失合計	27	125
税金等調整前中間純利益	3,032	4,304
法人税、住民税及び事業税	1,295	1,996
法人税等調整額	△224	△537
法人税等合計	1,070	1,458
中間純利益	1,962	2,845
非支配株主に帰属する中間純利益	46	59
親会社株主に帰属する中間純利益	1,915	2,785

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,962	2,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△356	905
為替換算調整勘定	△480	△32
退職給付に係る調整額	△162	△126
その他の包括利益合計	△998	746
中間包括利益	963	3,592
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	914	3,524
非支配株主に係る中間包括利益	49	67

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

当中間連結会計期間より、当社の非連結子会社であった日栄紙工株式会社及び遠州紙工業株式会社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

当社の連結子会社である株式会社スウェーデンハウスは、当中間連結会計期間に株式会社スウェーデンハウスリフォームを吸収合併しております。これにより、株式会社スウェーデンハウスリフォームを当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	60,053	22,624	22,383	105,061	—	105,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	5	3,068	3,112	△3,112	—
計	60,091	22,629	25,452	108,174	△3,112	105,061
セグメント利益又は損失(△)	4,051	△1,266	845	3,630	△482	3,147

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△482百万円には、セグメント間取引消去72百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△555百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	62,974	22,718	23,391	109,084	—	109,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	6	3,081	3,137	△3,137	—
計	63,023	22,724	26,473	112,221	△3,137	109,084
セグメント利益又は損失(△)	5,456	△1,324	795	4,927	△454	4,472

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△454百万円には、セグメント間取引消去81百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△536百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。